

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月13日
【四半期会計期間】	第8期第1四半期（自平成25年10月1日至平成25年12月31日）
【会社名】	株式会社オークファン
【英訳名】	Aucfan Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 武永 修一
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区道玄坂一丁目14番6号
【電話番号】	(03) 6809-0951
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理部長 濱田 淳二
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区道玄坂一丁目14番6号
【電話番号】	(03) 6809-0951
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理部長 濱田 淳二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第7期 第1四半期累計期間	第8期 第1四半期累計期間	第7期
会計期間	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日	自平成24年10月1日 至平成25年9月30日
売上高 (千円)	171,893	229,343	751,841
経常利益 (千円)	79,547	96,850	301,976
四半期(当期)純利益 (千円)	61,212	59,284	212,355
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	176,119	648,681	565,974
発行済株式総数 (株)	2,738	9,692,500	1,833,500
純資産額 (千円)	531,798	1,685,082	1,461,914
総資産額 (千円)	615,189	1,751,041	1,615,430
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	8.94	6.30	26.77
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	5.89	23.23
1株当たり配当額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	86.0	96.2	90.4

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社が存在しないため記載しておりません。

4. 当社は、平成25年1月15日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行い、また、平成25年10月1日付で普通株式1株につき5株の株式分割を行っておりますが、当該株式分割が第7期の期首に行われたと仮定して、1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

5. 第7期第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新株予約権残高はありましたが、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第1四半期累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や金融緩和等を背景に円安及び株高の傾向が現れ、緩やかながらも景気回復への動きが見られました。その一方で、中国や新興国経済の減速懸念等から先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社を取り巻くインターネット関連市場につきましては、スマートフォンやタブレット端末の需要が好調に推移していることに後押しされ、インターネット利用人口及び接触時間は継続的に増加しております。平成25年6月末時点の移動系データ通信の契約数は1億4,360万回線（前期比1.4%増）と増加が続いており、このうち、移動系データ通信専用サービスの契約数も2,858万回線（前期比4.4%増）と増加傾向にあります。（出所：総務省「電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表（平成25年度第1四半期（6月末）」））。

このような事業環境のもと、平成25年4月25日付で、東京証券取引所マザーズ市場への上場を機会に、当社インターネットメディア事業の拡大に向け、その中核を成す「オークファン」において、ユーザー数の拡大、収益基盤の確立・強化に一層取り組みました。ユーザー数の拡大に向けては、SEO対策、会員サービス・コンテンツ強化施策、スマートフォンサービス強化、プロモーション施策などユーザー数増加施策に注力しました。これによりユーザー数は順調に増加しております。また、収益基盤の確立・強化に向けては、商品検索機能の強化などのユーザーリテリ強化施策、及びEマーケットプレイス各社とのアライアンス強化などに努めてまいりました。これにより当第1四半期累計期間においてはネット広告収入が順調に増加しており、収益基盤の強化に貢献しております。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は229,343千円（前年同四半期比33.4%増）、営業利益は87,352千円（前年同四半期比10.1%増）、経常利益は96,850千円（前年同四半期比21.8%増）、四半期純利益は59,284千円（前年同四半期比3.1%減）となりました。

(2)財政状態の状況

資産の部

流動資産は、前事業年度末と比べて31,699千円増加し、1,321,789千円となりました。これは主に、現金及び預金が増加したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末と比べて、103,911千円増加し、429,252千円となりました。これは主に、のれんが91,127千円増加したことによるものであります。

この結果、当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ135,611千円増加し、1,751,041千円となりました。

負債の部

流動負債は、前事業年度末に比べて87,556千円減少し、65,959千円となりました。これは主に、未払法人税等が71,628千円減少したことによるものであります。

この結果、当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ87,556千円減少し、65,959千円となりました。

純資産の部

純資産合計は、前事業年度末に比べて223,168千円増加し、1,685,082千円となりました。これは主に、新株予約権行使による新株発行により資本金が82,707千円、資本剰余金が82,707千円増加したこと、また、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の額が59,284千円増加したことによるものであります。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月13日)	上場金融商品取引 所名又は登録認可 金融商品取引業協 会名	内容
普通株式	9,692,500	9,692,500	東京証券取引所 (マザーズ)	完全議決権株式であり、株 主としての権利内容に何ら 限定のない当社における標 準となる株式であり、単元 株式数は100株でありま す。
計	9,692,500	9,692,500	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成26年2月1日から当四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれていません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年10月1日 (注)1	7,334,000	9,167,500	-	565,974	-	565,844
平成25年10月1日~ 平成25年12月31日 (注)2	525,000	9,692,500	82,707	648,681	82,707	648,551

(注)1.平成25年10月1日付の株式分割(1:5)によるものであります。

2.平成25年11月19日付の新株予約権の権利行使による増加であります。

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,830,300	18,303	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。
単元未満株式	普通株式 3,200	-	-
発行済株式総数	1,833,500	-	-
総株主の議決権	-	18,303	-

(注) 1. 平成25年7月17日開催の取締役会の決議により、平成25年10月1日を効力発生日として1株を5株に株式分割しております。

これにより、平成25年12月31日現在、発行済株式総数が7,334,000株増加しております。

2. 平成25年11月19日の新株予約権行使により、発行済株式総数が525,000株増加しております。

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員】の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における、役員の変動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第1四半期累計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,126,650	1,180,642
売掛金	111,621	127,471
貯蔵品	1,180	1,101
その他	51,734	13,381
貸倒引当金	1,097	808
流動資産合計	1,290,090	1,321,789
固定資産		
有形固定資産	44,933	43,135
無形固定資産		
ソフトウエア	191,559	195,544
のれん	311	91,439
その他	11,917	26,111
無形固定資産合計	203,788	313,095
投資その他の資産	76,617	73,021
固定資産合計	325,340	429,252
資産合計	1,615,430	1,751,041
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,230	6,927
未払金	26,296	22,828
未払法人税等	96,622	24,994
賞与引当金	6,000	-
その他	18,366	11,208
流動負債合計	153,515	65,959
負債合計	153,515	65,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	565,974	648,681
資本剰余金	569,737	652,444
利益剰余金	324,027	383,311
株主資本合計	1,459,738	1,684,437
新株予約権	2,175	644
純資産合計	1,461,914	1,685,082
負債純資産合計	1,615,430	1,751,041

(2) 【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
売上高	171,893	229,343
売上原価	19,424	35,288
売上総利益	152,469	194,055
販売費及び一般管理費	73,158	106,702
営業利益	79,311	87,352
営業外収益		
為替差益	231	491
受取利息	4	4
設備賃貸料	-	750
投資有価証券売却益	-	9,000
その他	-	142
営業外収益合計	236	10,388
営業外費用		
支払利息	-	80
株式交付費	-	810
営業外費用合計	-	891
経常利益	79,547	96,850
特別利益		
投資有価証券売却益	26,400	-
新株予約権戻入益	71	-
特別利益合計	26,471	-
税引前四半期純利益	106,018	96,850
法人税、住民税及び事業税	42,687	28,813
法人税等調整額	2,118	8,752
法人税等合計	44,806	37,565
四半期純利益	61,212	59,284

【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	11,495千円	17,659千円
のれんの償却額	54千円	4,854千円

(株主資本等関係)

当第1四半期累計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

1.株主資本の著しい変動

当社は、平成25年11月19日付で、新株予約権の権利行使による新株発行の払い込みを受けました。この結果、当第1四半期累計期間において、資本金が82,707千円、資本剰余金が82,707千円増加し、当第1四半期会計期間末において、資本金が648,681千円、資本剰余金が652,444千円となっております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)

当社の事業セグメントは、インターネットメディア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期累計期間(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

当社の事業セグメントは、インターネットメディア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(企業結合等関係)

1. 取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

被取得企業の名称及び事業の内容

商号	株式会社マーケットエンタープライズ (以下「ME社」)
事業内容	ネット型リユース事業、フリーマーケット事業
資本金	20,000千円(平成25年6月末現在)

企業結合日

平成25年10月1日

企業結合の法的形式

事業の譲受け

(2) 事業の一部譲受けの目的

ME社は、全ての人に、もっとリユースを身近なものとするべく、二次流通市場の普遍化に向けた取り組みの一環として「フリーマーケット事業」を運営しており、当該事業においては、地域密着型企業の地域貢献・CSR活動の一助として、地元の消費者を巻き込んだフリーマーケットの開催を展開し、フリーマーケットの全国開催情報サイト「フリーマーケット楽市楽座」の運営も行っておりました。『地域貢献型出店無料のチャリティーフリーマーケット』や『企業タイアップ型フリーマーケット』など、他にはないオンリーワンのビジネスモデルとして現在36都道府県にて開催しており、のべ850開催以上の実績があります。

今回の事業譲渡によりオークファンのユーザーは、フリーマーケットというリアルな「場」を通してモノを売り買いすることの楽しさを身近に感じて頂くことが可能になり、フリーマーケットという「場」を通じてオークファンをより身近に楽しく活用していただくことで、買い手から売り手にユーザーが成長するオークファン独自のモデルをより加速させる契機となることから、事業の一部譲受けに関する譲渡契約締結に合意いたしました。

(3) 四半期累計期間に係る四半期損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

平成25年10月1日から平成25年12月31日まで

(4) 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価(現金)	85,029千円
取得に直接要した費用(アドバイザー費用等)	1,585千円
取得原価	86,615千円

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

発生したのれん

86,615千円

発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものです。

償却の方法及び償却期間

5年間の定額法

(6) 事業譲受けにより受け入れた資産及び引き受けた負債の額

譲受け資産については、ソフトウェア等が含まれており、受入価額は0千円であります。なお、譲受ける負債については該当ありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成25年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	8円94銭	6円30銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	61,212	59,284
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	61,212	59,284
普通株式の期中平均株式数(株)	6,845,000	9,412,880
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	-	5円89銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額	-	-
普通株式増加数(株)	-	647,490
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	第9回ストック・オプションとしての新株予約権 (新株予約権の目的となる株式数 192,500株)	-

(注) 1. 前第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、新株予約権の残高はあり

ましたが、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

2. 当社は、平成25年1月15日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行い、また、平成25年10月1日付で普通株式1株につき5株の株式分割を行っておりますが、当該株式分割が第7期の期首に行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)
該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成 26年 2月 13日

株式会社オークファン
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 轟 芳英 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 安藤 眞弘 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社オークファンの平成25年10月1日から平成26年9月30日までの第8期事業年度の第1四半期会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第1四半期累計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社オークファンの平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。